

KDDI エボルバ、職場における LGBTQ への取組み評価 「PRIDE 指標」でゴールドを 2 年連続受賞

株式会社 KDDI エボルバ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：若槻肇、以下 KDDI エボルバ）は、任意団体 work with Pride が策定した職場での LGBTQ などの性的マイノリティ（以下、LGBTQ）に関する取組みの評価指標「PRIDE 指標 2021」※1において、2021年11月11日、「ゴールド」を受賞しました。

なお、KDDI エボルバにおける「ゴールド」の受賞は昨年に続き、2年連続となります。

work with Pride



本年は、同性パートナーを「配偶者」として扱い、各種手当や休暇制度などを等しく適用する「パートナーシップ制度」や、法律上親権を持っていない同性パートナーの子を社内制度上の「家族」として扱い、育児休業や各種手当などを利用できる「ファミリーシップ制度」※2において、社内理解浸透、契約社員を含む社員による制度利用の活発化など、LGBTQ に配慮した職場づくりの実践が、高い評価を受けました。

KDDI エボルバでは、性別、年齢、国籍、障害の有無などと併せて性的指向による理由で不当な差別や個人の尊厳を傷つけない旨を「KDDI エボルバ行動指針」として企業ホームページに掲載し、社内外に広く周知しています。

また、性別や性的志向、性自認を理由に差別を行わないこと、性差によるセクハラ・パワハラを未然防止するための研修や、全社員を対象にした LGBTQ の理解促進コンテンツを e-ラーニング配信するなどの意識啓発に、積極的に取り組んでいます。

■ダイバーシティへの想い “自分らしく働く” を大切にする

KDDI エボルバは、髪型・服装が自由で、ワーク・ライフ・バランスを実現する働き方の選択やキャリアアップを目指す働き方など、多様な人材が“自分らしく働く”ことのできる環境、制度を整備しています。職場は、自分のカラーを出して働く社員の存在や、さまざまな社内制度の利用が日常にあるため、誰もが自然に働ける風土が醸成され、LGBTQ 当事者を含むさまざまなライフスタイルの社員が活躍しています。

今後も KDDI エボルバは、LGBTQ への配慮に限定せず、多様な個性や価値観をもつ全ての社員が、働く意欲を感じながら、イキイキと働くことのできる環境整備に継続して取組み、「多様な人材 × 多様な働き方」の具現化を一層推進するとともに、事業の拡大、持続的成長を目指します。

以上

■KDDI エボルバのダイバーシティ・働き方改革に関する主な取組み

- ・ダイバーシティ：<https://www.k-evolva.com/corporate/diversity/>
- ・働き方改革：<https://www.k-evolva.com/recruit/workstyle/>

※1. 「PRIDE 指標」とは、本指標を社内施策推進のためのガイドラインとして各企業内で活用されることや、「LGBTQ」に関する取組みについて優れている企業を表彰し、良い取組みを可能な範囲で公開することで「LGBTQ」の方々が働きやすい職場づくりの具体的な方法を広く社会に認識されることを目的として 2016 年 6 月に任意団体「work with Pride」が策定した指標で、本年第 6 回目を迎えました。

※2. 日本では同性パートナーの法的な婚姻が認められていないため、同性パートナーの 1 人が子どもの親権を持っていないという課題があります。「ファミリーシップ制度」は、KDDI 株式会社が 2020 年 6 月に開始した同性パートナーを持つ従業員を対象にした新制度です。法律上は子ではないものの、社内では家族同様に扱うとの思いを込め、名称を「ファミリーシップ」と名づけられました。KDDI エボルバは、本制度を 2020 年 8 月より全社員を対象に導入し、同性パートナーの「子」を「家族」として扱い、育児休業や子の看護休暇、各種手当などの社内制度を等しく適用しています。

・本リリース本文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。